

立春は過ぎても、早春賦の「春は名のみの風の寒さや」、ですね。まだまだ寒い日本、カシミヤのシーズンは当分続きます。UTOは今年で創業25周年になります。

ふるさと納税の年末は怒涛の寄附を頂き、嬉しい悲鳴でした。締めめの年末が過ぎると祭りの後のような虚脱感の状態ですが、実は2017年のふるさと納税はもう始まっています。毎年そんなに収入や納税は大きく変わらないものだと思います。それだったら、通年対応で長年着用出来るベーシック主体のUTOカシミヤは、今がゆっくり選べる、とてもいい時期です。どうぞ、ご検討ください。



「ふるさと納税：来社」
「ふるさと納税する(した)んだけど、実際にカシミヤに触れて、色を確かめたい」という寄付者の方の来社がとて多くなりました。

「どうぞどうぞ、お待ちしています」ということで来社された方にはとても喜んで頂いています。我々としてもカシミヤは風合いが一番の自慢です。実際に触ってその気持ちよさを確かめて、微妙な色合いも確認して頂けることが一番です。

ほとんどがウェブサイトで寄附ですが、ご遠慮なく青山のショールームにお越しください。
10時〜17時(平日)に報頂けると幸いです。

【UTOは今年で、創業25年】

一九九二年に、二重山骨董通りで創業しました。当初、会社名もブランド名もBHFインターナショナルという名前、ハイファッションのベースになるニットを提供し、全国のブティックに卸をするアパレルでした。

当時は、八〇年のバブルが崩壊して、年々景気が後退していく時期で、従来のビジネスモデルも崩壊してブティックも閉店が相次ぎ、販売不振と在庫過多に苦しむ日々でした。

二〇〇〇年一月一日を機に、会社名をユーティーオーに変更し、一大決心でカシミヤに特化し、『貴方の好きな色で、貴方にぴったりのサイズでお作りします』

「という、二ツのセミオーダーを始めました。それが好評で製造が間にあわず、注文に対応する為にも、また従来の夢で有った「製造・販売」を実現すべく二〇〇五年に山梨に自社工場を開設しました。

山梨工場時代は、自社工場ながらセミオーダーが上手いからOEMやBtoB主体になり経営的にかなり難しい時期でした。二〇一一年、縁があり移転した岩手県北上でやっと工場が回り始めました。この頃から販売先がブティックからネット販売に移行しUTOのビジネスモデルが大きく変わりました。

二〇一四年、秋。北上市から、ふるさと納税の返礼品としての提案を頂きました。このふるさと納税が好評で翌一五年度は、全国から二億円の寄附を頂きました。これを機に多くの方にUTOを知って頂き、今年も昨年と同じ二億円を達成しております。当社にとってももちろん、北上市にも、寄付者の方にも喜んで戴けるふるさと納税に大きなチャンスを感じています。



【青山・表参道境界】

UTOはこんな街から発信しています

ペンティック 書斎館

ギャラリーのような知的空間の店

南青山骨董通りにあるUTO入るたつむらビルの前から通りを渡って向かい側の路地を入ってすぐの処に書斎館という万年筆のお店があります。

磨りガラスに赤ちゃんの写真の案内版と、まくら木のような階段とトクサの生えるユニークな入り口を入ると、中は博物館のような雰囲気。明るい外から入るとちよっと薄暗い空間に、ギャラリーの展示のようにガラスケースにびっしりと万年筆が並べられてディスプレイされていて、一瞬博物館に入ったような気分です。こんなに優雅で知的なお店の空間にいると自分がインテリにもなったような気分になります。

高価な万年筆は200万円もするそうですが、何十種類もの万年筆が大事に展示されているのを見ると、無粋な私でも万年筆一本にもそれぞれ個性があり、執筆の専門家や文筆家の人達にとってはなくてはならない相棒なんだろうと感じます。

恥ずかしながら、悪筆で漢字を知らない事もあって私はこの頃文字を書くという行為は、ほと

んどパソコンで、すっかり文字を書かなくなっていました。今まで書いた三冊の本はすべてパソコンでしたので、私にとって万年筆は恐ろしくちよっと近寄りたがたい憧れの文具です。

カシミヤの仕入れに地方から出てこられたお店の人から「なにか東京らしいお勧めのお店は？」と聞かれて、「直ぐ近くにある、東京でも珍しい万年筆のお店」と、度々紹介するのがこの書斎館です。

二〇〇一年にオープンしたのですが、万年筆の世界に浸りながら自分の一点を探す楽しみを味わいながら購入する。オーナーのセンスとこだわりが伝わってきて、実店舗が欲しいカシミヤ屋として知らず知らずのうちに限りのお店です。

店内に喫茶コーナーもあります。喫茶と言うより図書館の一部のような雰囲気があります。古い雑誌や復刻版の絵葉書もあります。

もし、大事な万年筆を思っいたら、一度訪ねられることをお勧めします。



カシミヤ100% メンズ ケーブルJK

MUAC-5138 ¥151,200 税込



贅沢なケーブル編みローゲージカーディガン。衿はショールカラーで、身頃はポリウレムのあるケーブルで編みあげています。最高級カシミヤ100%の上質の素材感が魅力です。戦前の映画に出てきそうな永遠のニット。正統英国クラシック柄とスタイル。

カシミヤ100% ウィメンズ 袋ノネックセーター

1112-1113 ¥48,600 税込



スポーティ、カジュアルのニットセーターを卒業して、もっとエレガントにニットの着たいという要望に応じて企画したニットです。ウエストをシェイプし、袖口と裾を袋編みにして大人のファッションを追求しました。

カシミヤ100% 巾広両畦マフラー

1327-3004 ¥16,200 税込



やわらかさを追求したマフラーです！巾を安定させる為に、両畦という織地で編み上げました。ポリウレム感ばっちり、カシミヤの柔らかさが何ともしません！

カシミアとニットの話 * (五十六)

毛玉(ピリング)の出来にくい着方と対処の方法

カシミアが活躍しているシーズンですね。軽く柔らかいカシミアを着用する上で知ってほしいのが、毛玉に対する知識です。

ちよつと気を付けるだけで随分違います。大事な大事なカシミア。

* 摩擦に注意 *

着用するということはセーターにとっては摩擦されることと言えます。摩擦をなくすることは出来ませんが、なんといっても摩擦の度合いです。激しい作業での着用や何日も連続での着用は禁物です。ですから気に入ったセーターでも毎日着用してほしくないです。少ななくても日着たら2日くらいは休ませてください。特に男性は同じものを何日も続けて着る方もいらっしゃいます。要注意です。

上着として着用しているときは自分自身の摩擦が主ですが、車などのウールのシートで背中が擦れて毛玉になったというケースもあります。

案外気がつかないのがセーターの上に重ね着したときの上着です。裏地の無いツードなどの上着などは厳禁です。他にも帆布製品などのカバンで擦れてカバンのあたった部分だけが毛玉になることもあります。

* 異物と静電気に注意 *

毛玉が出来る元は繊維が自らからまるケースや異物や静電気で繊維同士がくっついて絡まり始めるなどがあります。異物と言っても目に見えないようなゴミというより繊維の切れ端などのような微小なものもです。これらの毛玉の元を解消させるにはこまめなブラッシングが一番です。着用して仕舞う前にちよつとブラッシングするだけでずいぶん違います。

絡まりそうになった元をほどこいてやるんです。

* 湿度と温度がポイント *

ジャンパーの内側に着ていて車を運転してシートベルトで押さえられた部分が三〜四日で毛玉になってしまったとか、ウインドブレーカーの中に着て一日ゴルフをやっただけで腋の下が毛玉になってしまったというケースもあります。これらは連続の着用と蒸れて圧迫され擦れた典型的な例です。蒸れには要注意です。

* 出来てしまった毛玉は *

毛玉が出来たら引つ張らないで鉄みなどで切り取るのがベターです。気を付けないとセーターの本体まで切ってしまう恐れがあります(私も切つて失敗したことがあります)。この頃は髭剃りみたいな手軽な毛玉取り機が発売されています。結構きれいに取れます。

毛玉を取ったらセーターが薄くなるのではと心配される方もいらっしゃいますが毛玉を取る程度はセーターにとっては全く問題ありません。出来たら一台は毛玉取り機を常備しておいて欲しいものです。



お蕎麦騒動



一九七〇年代に経験した、お蕎麦の騒動です。

野生のエルザというライオンと人間の愛情物語の本を書いたジョイ・アダムソン夫人。

また若き、旅行屋の時に彼女を日本に招待したことがあります。初めて訪れた日本。東京の赤坂で通りかかった蕎麦打の姿姿を見て興味津々、あれを食べたいということになり蕎麦屋さんに入りました。

待つこと数分。彼女は、出て来たざる蕎麦の上からソバつゆをかけようとした。同行のみんなビクッリ！ 一髪回避しました。彼女は、「それ以外にどんな食べ方があるの？」そう言われれば、器に盛られた食べ物に汁が出てきたらかけるしかないよなあ・・・

身振り手振りで食べ方を教えます。きざみネギとワサビを入れて蕎麦を適量着てつまんで、つゆの中に好みで浸けてすすります。お蕎麦を食べるためのこれだけの動作に彼女は大盛り上がりでした。蕎麦つゆに浸ける量で味を調整することに感心することしり。

その後私が蕎麦をすするのを真似るんですが彼女はすれないうちに、やつと着てつまんだ蕎麦が口に入ってもポロポロ落ちるんです。今度はこっぴど、エエツッ！ 周りの人が口笛のように唇を尖らせて、スウ〜スウ〜と吸うことを教えるんですが、いざお蕎麦が口に入ると吸えないんです。

みんな大笑い。本人も大笑いで、「こんなに難しい食べ方は初めて！ 出来ない日本人はいないのかしら！」そんな質問をされても・・・

友人が見た話し。

ヨーロッパから日本に向かうお隣の外国人の男性。飛行機の機内食に出てきた蕎麦をスチューデスさんから譲られ、ニコリして受け取って、蕎麦をそのまま着てみんな食べてしまった。その間にワサビを少しずつおかずにしていった。

隣で見ていた友人は、なんと書いてあげたら良いか言いだせないうちにお蕎麦を食べ終わってしまったそうです。そのあとおやおやお茶を飲むようにおつゆを飲んでしまったお隣さんは、なんととも言えない顔をしていたそうです。その顔を見た友人は、もうその人の顔を見れなくなりました。笑いで話して笑ってしまったお話をした。

世界のホテルを旅する(五十六)

元 旅行屋のお勧め ホテル・USA サーフライダー

ワイキキのカラカワ通りを歩いていると、ひと際立って白いホテル。ワイキキのクイーンと言われるホテル サーフライダーです。隣りがピンクのロイヤルハワイアン、こっちは白のサーフライダー。ロイヤルとクイーンが並んでいます。旅行屋で頑張っていた一九七〇年代の中ころ、あるファッショナーの社内旅行でこのサーフライダーに泊まりました。今の豪華な建物に衣替えする前ですが、当時はワイキキの名門ホテルにふさわしいエレガントな良い雰囲気のホテルでした。

ハワイは二回目のこのグループは先回は新しい建物のワイキキ・リージェントに泊まったので、古きよき時代のリゾート気分を味わってみたいと、白いコロニースタイルの建物のホテルのサーフライダーをお勧めしました。

天井には大きな羽根の扇風機が回る、南海の楽園の舞台にふさわしい古きよき時代を一番感じ、ワイキキの中で自前の庭でワイキキビーチを前にハワイアンショーを出来るのはほんの一握りのホテルです。これなら絶対喜んでもらえる自信をもって選んだホテルでした。

大方の社員には好評。特に女性には大好評でしたが、古いタイプのエアコンでは冷え方が足りないんです。この会社の社長さんは大の暑がりですが冷えないとダメなんです。僕なんかは一緒の部屋に居ると寒くなって書いてしまうほどです。

カラカワ通りをはさんで右向かいが近代的な超高層ホテルのハイアトリジェンシー・ワイキキがあり、昼間ショッピングに行つたときに設備の新しい気が入つたらしく、こつちに代えてくれと言いつつ出ます。もちろんツアーですから、日本を出発する前からきちんと決めてありますので今になって変更することは不可能です。丁寧に事情を説明して納得してもらったんですが、今度は私が承知しないんです。



はじめの頃は「こんな伝統的なホテルは良いね」と好意的だったのに、社長さんがこのホテルを気に入っていないのを知ると嫌になつてきたらしく、一階の部屋に居る間中ねちねちと細かいことを言い出します。いつもは添乗員は一人部屋なんですがこのときはこの経理部長さんと一階の部屋割りになつてしまったんです。

いつまでもくすぐず云われたら我慢が出来ず喧嘩になりそうと思って他の社員の部屋に泊めてもらいました。それにしてサーフライダーはラグジュアリーなホテルになりましたね。今だったらそんな騒動は起きないはずですが